

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の方が増えたため、より多くの部屋があるのが理想ではある。長期休暇等には、活動内容を工夫し、今ある資源を有効に活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切である。 長期休暇等には、職員を増員して、利用者支援に当たった。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		より使い勝手のよいように、スロープやトイレ・手洗い場等の改善ができるとうい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善の為、常に見直しを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にアンケートをお願いし、意向等踏まえ業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後は、受けてみたいと思っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員研修を行っている。 それぞれの職員が、進んで研修に出ている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年に2回アセスメントシートを保護者にも記入していただき、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個別に行動観察を行い、それぞれの対応をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員がおこなっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			その日の状況等を踏まえ、子どもの発達・成長に合わせて工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動内容は、利用時間、季節等を踏まえ、計画を立てている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の活動、集団活動を組み合わせて、計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			開所前に打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			時間がない時は、翌日になるが必ず共有している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、個人日誌等の記録を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		適宜モニタリングを行い、見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○	時間が短いため複数とまではしていない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		責任者が、担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者や学校とも話し合い、連携している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		今は、医療的ケア児はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		現在は、目事業所からの移行の利用者の方が多いが、利用前に、各園へ見学へ行ったり、様子をうかがいに行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行先の事業所にて、担当者会議を行った。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		リハビリ機関に見学へ行ったり、助言をいただいた。また、SVや、外部の事業所より、助言をいただく機会を設けた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在はしていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		担当者が、参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時等に、その日の活動、学校や家での状況などをうかがうようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	コロナの影響で、開催できていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始の際には、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	その日の状況を伝えるだけでなく、日頃の様子もさらにうかがう必要がある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナ等の影響で、昨年度より、開催できていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			日頃から、保護者からのちょっとした意見も見逃さないようにし、次の支援への参考にしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、いきいきっ子だよりを発行し、ホームページ等に掲載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分配慮している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に対応できるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			秀溪まつりを何らかの形で、開催予定。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	現在作成中である
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回避難訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			担当者が、研修会に参加し、職員全体での研修会も設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を行う必要のある子どもはいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者からの聞き取りで、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で共有している。